



J-SOXの「最後の砦」

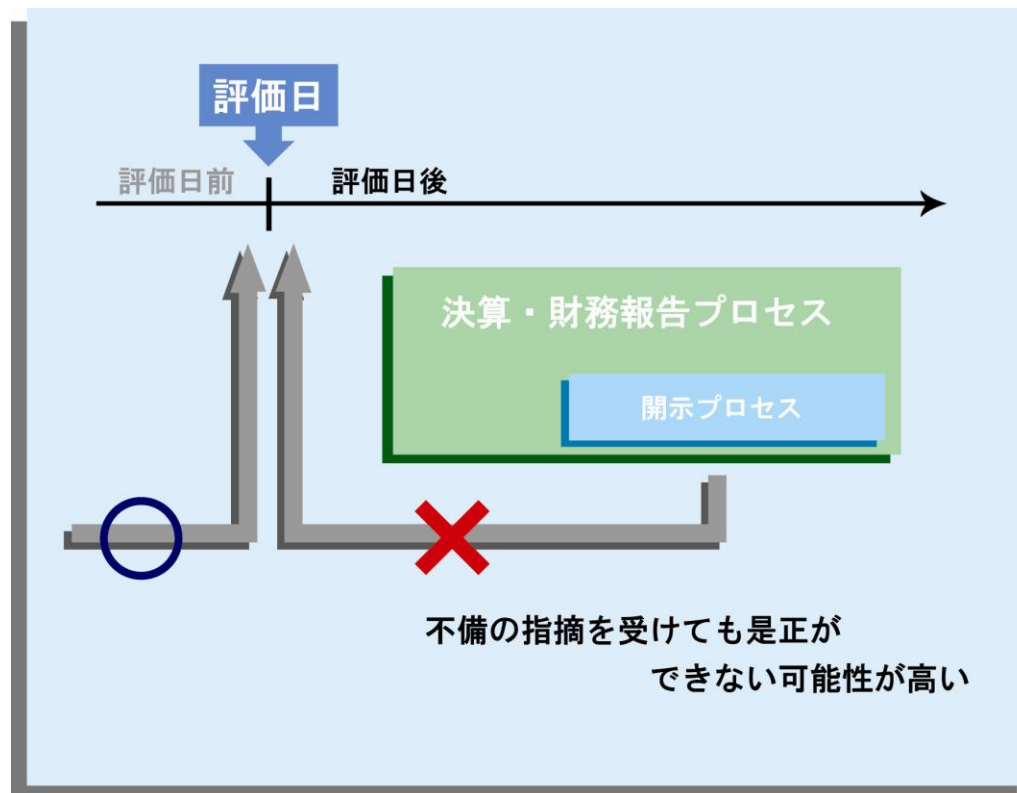
有価証券報告書チェックリスト 導入のご提案



本書は導入検討のための資料として作られたものです。
転載は固くお断り申し上げます。

開示プロセスを含む決算・財務報告プロセスの評価には、注意が必要です。

開示プロセスは内部統制報告制度の「最後の砦」



POINT

- 評価の時期が、評価日後
- 評価日後の是正は、不可能

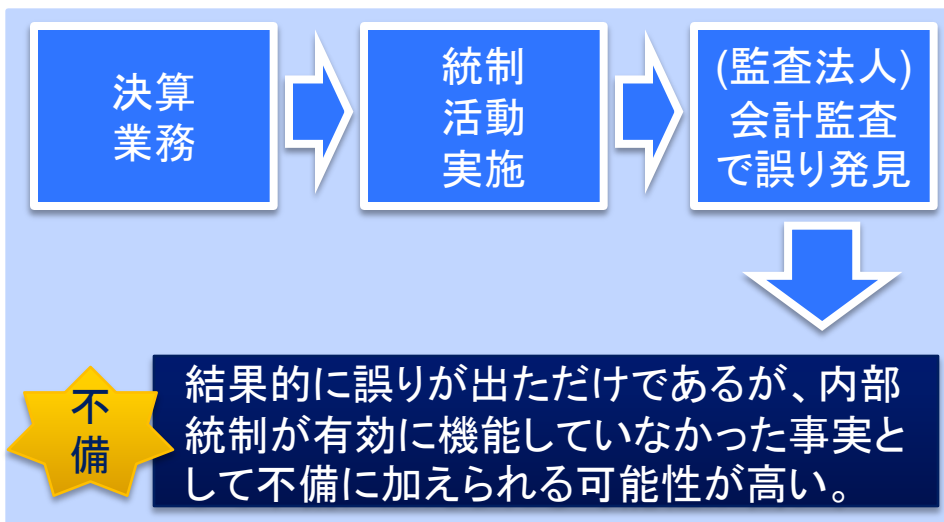
解説：
 決算・財務報告プロセスは、評価日(期末日)以降に存在するため、統制行為の実施及び評価も評価日以降に行うことになります。通常、不備を過去に遡って是正することはできないと考えられます。

これが意味することとは？



開示プロセスで生じる記載誤りには、他のプロセスのそれに対し特異性があります。

記載誤り⇒不備!?



POINT

- 有価証券報告書について、監査法人から修正指示は多くないか？
- 開示プロセスは要注意

米国で発生した重大な欠陥の割合

カテゴリー	件数	%
決算及び開示プロセス	669	31.2
人事	267	12.5
重要な勘定科目	490	22.9
その他	718	33.4

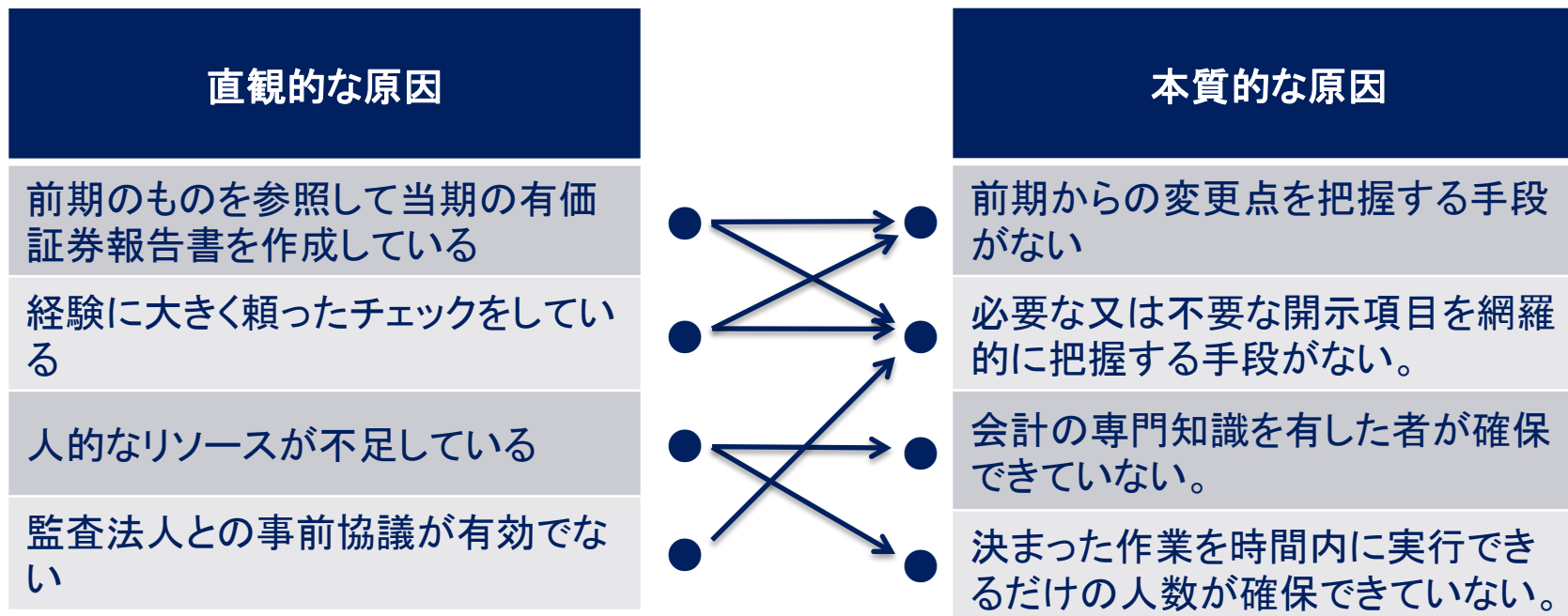
出典: Compliance week

解説:
是正ができない開示プロセスでは、有価証券報告書の誤りは、そのまま内部統制の不備としてカウントされる可能性が高いと考えられます。また、内部統制報告制度で先行する米国の実態からも開示プロセスは他のプロセスに比べ重要度が高いことが理解できます。

誤りの発生理由は？

Go to next page

誤りが発生する原因を直観的に挙げてみると、そこに潜む本質的な原因が把握されます。



原因への対処方法は？



本質的な原因に対しては、具体的に下記のような対処方法が挙げられ、これらの対処方法に対する有価証券報告書チェックリストの対応範囲は下記の通りとなります。

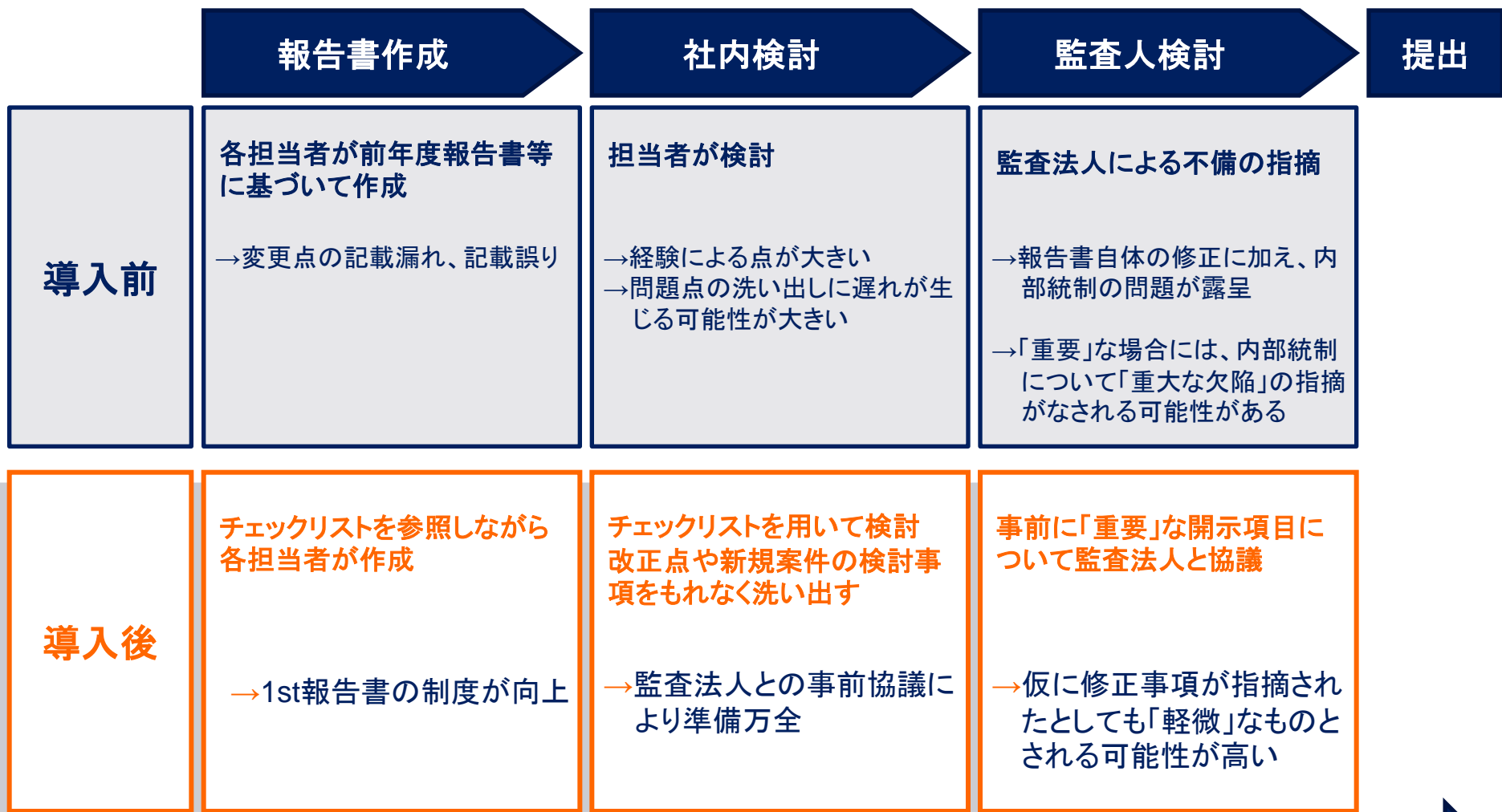
本質的な原因	具体的な対処方法	有価証券報告書 チェックリストの 対応範囲
前期からの変更点を把握する手段がない	関連法規や会計基準の改正、新規施行を調査する	○ ※1
必要な又は不要な開示項目を網羅的に把握する手段がない	必要となる開示項目を事前に調査する	○ ※2
会計の専門知識を有した者が確保できていない	専門家を利用する 外部研修の活用や社内研修を行う	○ ※3
決まった作業を時間内に実行できるだけの人数が確保できていない	人材の採用活動を行う 効率化のための作業改善を行う	△ ※4

解説:
 ※1 最新の関連法規や会計基準を反映しています。早期適用にも対応しています。
 ※2 関連法規及び会計基準を漏れなく反映しています。
 ※3 現役の公認会計士が作成しています。また、研修資料としてもご利用いただけます。
 ※4 開示項目ごとに根拠を示していますので、お調べの際に指針として活躍します。

チェックリスト導入後は？



実際に有価証券報告書チェックリストを導入した場合、導入前の問題点が下記のように解決されます。



価格は？

Go to next page

	初回販売	継続利用 ^{※1}	
有価証券報告書 チェックリスト	¥298,000-	¥98,000-	上記チェックリストをお客様の状況にあわせてカスタマイズするプランになります。チェックリスト販売価格に別途、実績作業時間に基づくご請求となります。
四半期報告書 チェックリスト	¥148,000-	¥48,000-	
カスタマイズプラン	¥588,000- (4日 × 7h × ¥21,000) ※2	¥147,000- (1日 × 7h × ¥21,000) ※2	

※1 継続利用の価格は、初回販売時購入のお客様に対して改訂版として翌年度以降継続の場合に提供する価格となります。また、関連法令等の大改正の場合には、継続利用(改訂版)の提供を行わないことがあります。

※2 有価証券報告書チェックリストをカスタマイズする場合を想定したものです。

商品そのものは？

Go to next page

「有価証券報告書チェックリスト」サンプル版を Web で公開しております。
ぜひ、ご覧ください。

ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。



株式会社エージーテック

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町1-21-1
昭栄神田橋ビル3F

TEL: 03-3293-5283
FAX: 03-3293-5280
E-mail: sales@agtech.co.jp

<http://www.agtech.co.jp>